

地震

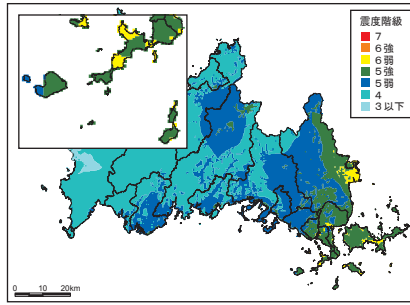
はじめに

- 地震の被害想定は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」の条件を基にした南海トラフ巨大地震を対象としたものです。
- 皆さんの避難に役立つよう、地震時における被害想定、避難方法や避難の考え方を取りまとめています。
- ◎上関町における「津波浸水想定」の詳細については、本マップの表面にとりまとめています。

山口県における被害と、上関町における被害

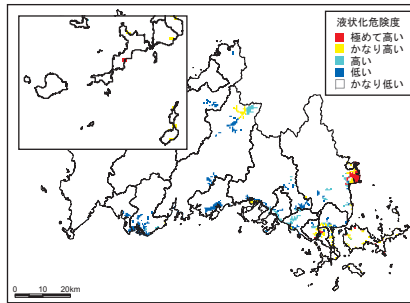
揺れ

- 山口県における被害**
- 県東部で震度が高くなる傾向にあり、柳井市平郡島では震度6強が想定されます。
 - 建物被害では、609棟の全壊、7,168棟の半壊が想定されます。
- 上関町における被害**
- 上関町の最大震度は6弱が想定されます。
 - 建物被害では、9棟の全壊、184棟の半壊が想定されます。



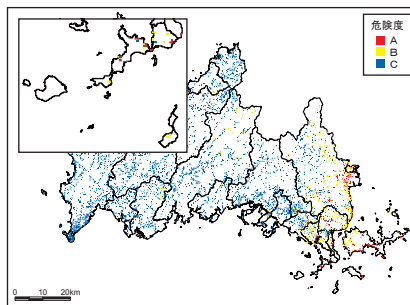
液状化

- 山口県における被害**
- 山口県における被害想定はそれほど大きくありませんが、県東部で液状化の危険度が高くなる傾向があります。
 - 建物被害では、1,771棟の全壊、2,761棟の半壊が想定されます。
- 上関町における被害**
- 液状化危険度は、一部の地区を除いて「かなり低い」地域と想定されています。
 - 建物被害では、3棟の全壊、4棟の半壊が想定されます。



土砂災害

- 山口県における被害**
- 県東部で土砂災害の危険度が高くなる傾向があります。
 - 建物被害では、61棟の全壊、124棟の半壊が想定されます。
- 上関町における被害**
- 沿岸の低地部で危険度A、B、Cが点在しています。
 - 建物被害では、8棟の全壊、17棟の半壊が想定されます。



■建物被害想定 単位：棟

	合計	揺れ	液状化	土砂災害	津波
山口県	全壊 5,895 半壊 43,021	609 7,168	1,771 2,761	61 124	3,455 32,968
上関町	全壊 44 半壊 469	9 184	3 4	8 17	24 246

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがあります。

地震における留意事項

■平常時にしておくこと

- ①避難所と避難路の確認**
 - 避難所やそこまでの経路は、ハザードマップを使って確認しておきましょう。また、安全に通行できそうか、避難所までのどのくらいの時間がかかるのか確認しておきましょう。
- ②家の内外の安全対策**
 - ガラスには飛散防止フィルムを貼る、家具や瓦などを固定する、玄関にモノを置かないなどの対処をしておきましょう。また耐震診断で家の耐震性を確認し、必要に応じて耐震改修を進めましょう。
- ③避難時の携行物の整理と点検**
 - 冊子の「避難時の携行物」を参考に、必要最小限の荷物を事前に用意しておきましょう。

■被災時の留意事項

地震発生

- まず、自分の身を守る。
- 揺れが収まったら火を消す。
- ドア、窓を開ける。

1～3分

- 火元の確認をする。
- 靴・スリッパを履く。
- 崖崩れなどの危険がある地域は即避難。

3～5分

- 近所に火は出していないか確認する。
- 出火防止・初期消火に努める。
- 余震に注意する。

10分～数時間

- みんなで消火・救出活動。
- ラジオなどで情報を確認。
- 電話は緊急連絡を優先する。

数時間～3日

- 消火と救出活動に協力する。
- 壊れた家には戻らない。
- 自主防災組織に協力し、避難生活。

避難生活

- 指定された避難所での避難生活。
- 町に協力して避難所運営。
- 要配慮者に対する配慮。

地震における避難の考え方

一時避難

- 揺れが収まったら、公園や農地などの空き地に出て安全確認をしましょう。

安否確認

- 慌てず、地域で安否確認や火災の状況確認をしましょう。

避難

- 自宅が倒壊したり、火災にあつて戻れない場合、避難所へ行きましょう。

■要配慮者への対応

- 要配慮者とは**
- 突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、**高齢者、障害者、乳幼児などの要配慮者**と呼ばれる人です。
- 避難行動要支援者の支援に関する取り組み**
- 要配慮者のうち、自ら避難することが困難な方で、特に支援を必要とする人を避難行動要支援者といいます。上関町では避難行動要支援者について、名簿を作成しています。一人での避難が困難な方は申し出ていただき、避難支援者や地域支援団体の協力による支援を実施することとなります。
 - 要配慮者を災害から守るために、地域で協力しながら支援していくことが求められます。



津波

はじめに

- 津波の被害想定は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」の条件を基にした南海トラフ巨大地震及び周防灘断層群主部の地震を対象としたものです。
- 皆さんの避難に役立つよう、津波時における被害想定、避難方法や避難の考え方を取りまとめています。
- また近隣市町には被害の大きいところが多く、そうした場所で被災する可能性もあります。
- ◎上関町における被害想定と近隣市町における被害想定を意識しておきましょう。

■津波のメカニズムなど役立つ情報

■津波の起こり方

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起や沈降します。これに伴って、海水が変動し海面が隆起して大きな波となり四方八方に伝播するものが津波です。

■津波の速度

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さです。陸地に近づき水深が浅くなると波高が高くなり、速度は遅くなりますが、水深10mの位置でも短距離ランナーの全速力並みのスピードがあります。

■緊急地震速報

地震はP波と呼ばれる小さな揺れのあと、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前に気象庁が発表するものです。テレビやラジオなどを通じて、速報の発表がされます。

大きな揺れS波が来る前にP波を地震計がとらえる

大きな揺れS波が到達する前に、気象庁が地震の規模などを予測し発表する

■津波避難に関する情報

■避難に関する情報

種類	発表する津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超 10m 5m	地震規模推定の不確実性が大きいと考えられる場合、「巨大」という表現で発表。	●沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や高いビルなど安全な場所へ避難してください。 ●津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
津波警報	3m	地震規模推定の不確実性が大きいと考えられる場合、「高い」という表現で発表。	●標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (表記しない)		●海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 ●津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。

ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！

■津波における留意事項

■平常時にしておくこと

- ①危険性のチェック**
 - 職場や学校、普段訪れる病院や買い物先などの津波浸水の危険性を確認しておきましょう。
 - 具体的には、「浸水深」と「到達時間」を確認しましょう。
- ②避難場所の検討**
 - もし職場などが津波浸水エリア内にある場合は、事前に対象地域の防災マップや現地にて避難場所を確認する他、被災時の避難行動を考えておきましょう。

避難

- 慌てず、あらかじめ決めている広い道を使って、避難場所まで避難しましょう。
- 津波は時速36km 見えてからでは間に合わない
- 避難時には、右記のことに気をつけて下さい。

■被災時の留意事項

まず情報収集

- 慌てず、津波の発生状況の情報(ラジオ・テレビ・災害時緊急情報など)を確認しましょう。
- 最高津波水位の到達まで室津港周辺では約120分の時間があります。また30分以内には海辺から離れるようにしましょう。

津波警報が発令されたら…

津波発生のおそれが高い場合

避難の準備

- 津波発生のおそれが高い場合は、火災・液状化などの被害に気をつけながら、自宅に戻って持出品を準備しましょう。
- 準備後、避難場所へと避難しましょう。

津波発生のおそれが低い場合

避難

- 避難は徒歩で 車は渋滞に巻き込まれる
- すぐに戻らない 津波は繰り返し押し寄せる
- 油断しない 小さな地震でも大津波になる
- より遠く・高く 余裕があれば浸水区域外へ

■津波の被害

自治体名	最高津波水位 (T.P.m)	最高津波水位到達時間(分)	影響開始時間(分)
平生町	3.8	128	38
柳井市	3.8	174	18
下関市	3.8	245	105
周防大島町	3.7	173	25
山陽小野田市	3.7	251	107
光市	3.6	116	34
上関町	3.6	128	32
周南市	3.5	139	45
田布施町	3.4	124	35
下松市	3.2	130	44
宇部市	3.2	306	66
山口市	3.2	308	59
防府市	3.1	133	43
和木町	3.0	218	31
岩国市	3.0	223	32

※各数値は市町ごとに設定している主要な港湾・漁港など(代表地点)のもの。
※影響開始時間は、±20cmの水位変化(海辺にいる人の人命に影響が出る恐れのある水位変化)が生じるまでの時間。

